



本年は安政元年（1854）にペリーが横浜に上陸し、日米和親条約が締結されてから 170 年の記念の年です。

ペリー上陸を見守り、慶応 2 年（1866）の火災と関東大震災という二度の大きな災害から復活した当館中庭にある「たまくすの木（横浜市地域史跡）」周辺について、バリアフリーデッキを整備します。

段差解消や狭い通路の改善を図り、誰もが憩える空間にするため、地域循環型のクラウドファンディングを実施中です。

名称：横浜開港の歴史を未来につなげる「たまくすの木」に憩うバリアフリーデッキを作りたい！
期間：令和 6 年（2024）5 月 21 日（火）～7 月 19 日（金）
目標：500 万円（ALL or Nothing） ※目標に達しない場合、事業は実施しません。
プラットフォーム：READYFOR ※実施期間・名称等は変更の可能性があります。
主なリターン：開港資料館オリジナルグッズ・横浜モンテローザ 「横浜バウムクーヘン 玉楠の木・チョコレートパイ」セットほか、近隣事業者が提供する商品やサービス



クラウドサイトへ

ミルフィーユの開発協力 株式会社三陽物産

- 代表取締役社長 山本博士
（神奈川県横浜市中区長者町 9-155）
- 昭和 37 年 7 月創業
- 横浜市内で老舗洋菓子店「横浜モンテローザ」を経営し、昨年は横浜駅構内にロイヤルエクスプレスとコラボした「ロイヤルカフェ 横浜モンテローザ」も開店。「お菓子を通じて横浜の歴史・文化を継承する」を企業スローガンに、「宮川香山 眞葛ミュージアム」の運営や、戦前の西洋館「山手 1 3 3 番館」の取得・保全など、持続可能な歴史まちづくりにも積極的に取り組んでいます。
- <https://www.3yo.co.jp/>



パティスリー モンテローザ横浜本店
（株式会社三陽物産提供）

株式会社三陽物産と横浜開港資料館

横浜開港資料館を運営する公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団は、管理運営する各施設において、所蔵・管理する歴史資料を通じた「横浜の歴史文化」に関する普及啓発を行い、市民のふるさと意識の醸成、市民文化の発展に寄与することを目指し、令和 6 年 1 月 31 日に、この目的に賛同し当財団と連携した取り組みを推進している株式会社三陽物産と、連携を強化する協定書を締結しました。

同社からはこれまでに、山本博士代表取締役社長が取得され、約 160 年ぶりにイギリスから横浜への里帰りとなった「フェリーチェ・ベアト撮影・ダグラス中尉旧蔵写真アルバム」をはじめ、数多くの歴史資料を横浜市に寄贈・寄託され、当財団が管理運営する各施設で保存・公開しています。



令和 6 年 1 月 31 日の協定書締結の様子
左：(株)三陽物産 山本博士代表取締役社長
右：(公財)横浜市ふるさと歴史財団 佐藤信代表理事

お問合せ先

(公財) 横浜市ふるさと歴史財団 横浜開港資料館 Tel 045-201-2100
副館長 青木 祐介 担当：羽毛田智幸 広報担当：久保暢子、加藤七海